

参加申込書【2026年7月21日(火)必着】

以下の必要事項に記入の上、申込みください。
ご記入いただいた情報は、本ワークショップの開催目的以外には利用いたしません。抽選の結果は、郵送・FAX・メールのいずれかで2026年7月下旬頃に通知します。

ふりがな	携帯電話(無い方は固定電話)	
氏名	連絡先	Eメールアドレス
保護者名 (参加者が18歳未満の場合は、保護者の署名をご記入ください。)		
※本ワークショップに上記の者が参加することを承諾します。		
住所 〒		
託児希望	あり(ある場合 人・歳) / なし	
希望する項目	希望する項目に○をつけてください 手話通訳者/要約筆記通訳者/保護者同伴	
その他、連絡事項等がありましたらご記入ください(車いすの使用、介護者の同伴など)		
性別	男性 / 女性 / 選べない / 答えたくない	
年代	10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上	
家族構成	1人暮らし / 夫婦のみ / 親と子 / その他()	
職業	会社員 / 公務員 / 自営業 / パート・アルバイト / 学生 / 専業主婦・主夫 / 無職 / 定年退職 その他()	
麻生区に	在住 / 在勤 / 在学 / 地域活動 / その他()	
ワークショップ等参加経験 ※参加したワークショップ等に○を記入してください ※複数選択可 ※参加経験の有無は抽選結果に影響しません	麻生区車座集会における意見交換	
	地域の公共施設の未来を考えるワークショップ(麻生区)	
	麻生区地域デザイン会議	
	その他	
特に関心のある公共施設 ※複数選択可	麻生区役所	
	麻生市民館	
	麻生図書館	
	特になし	
公共施設の建替えについて、期待することや課題に感じることに記入してください。		

新百合ヶ丘という地域の魅力を再発見し、多様な人々が共存する公共施設の将来像について一緒に考えていきます。

つむぐ、つなぐ、 新百合ヶ丘のこれから。 ～わたしたちの記憶を、未来のシビックゾーンへ～

ワークショップ 参加者募集!



新百合ヶ丘駅周辺について、より魅力的な広域拠点の形成をめざし、交通環境の改善や公共施設の建替えなど、まちづくりの取組を推進しています。このたび麻生区にゆかりのある皆さまとともに、「公共施設(区役所・市民館・図書館)のあり方」を考えるワークショップ(みんなで考え、みんなで意見を出し合い、未来を想像する参加型イベント)を行います。

第1回

8月8日(土)

わたしとあなたの物語を共有しよう
▶参加者同士でインタビュー(聞き書き)を行い、まちに存在する個々の物語を再発見する

第2回

9月12日(土)

まちに繰り出し物語を発見しよう
▶まちへ繰り出し、場所と人を観察し、気づいたことを地図に記録する

第3回

9月26日(土)

未来への地図と言葉をつむごう
▶地図から浮かび上がった可能性と課題を抽出し、未来のまちや新しい公共施設で何ができればよいか検討する

時間

全3回いずれも
13:30~16:30

場所

麻生区役所
(川崎市麻生区万福寺1-5-1)

定員

約50名
※ご応募いただいた方の中から、年齢、住所等のバランスを考慮した上で抽選。

対象

麻生区に 在住 又は、
麻生区に ゆかりのある方 (在勤・在学・地域活動など)
※原則、全3回に参加できる方 ※小学5年生以上の方

申込方法

提出先

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課(川崎市役所南庁舎4階)
FAX 044-200-3679
市ホームページURL:
<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000187342.html>



市ホームページ



「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくり」とは?

40年以上経つ公共施設(区役所や市民館、図書館など)の建替えを機に、市と民間が協力して駅前の交通の不便さを解消し、多様な都市機能の集積による、にぎわい・魅力創出を一体的に推進する取組です。

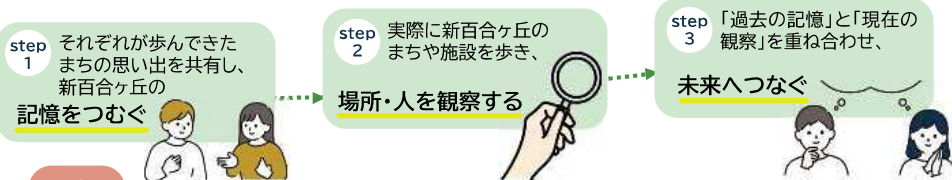
主催・問い合わせ先

(区役所の整備に関すること)	(市民館・図書館の整備に関すること)	(新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりに関すること)	(麻生区に関連する事業の調整に関すること)
川崎市市民文化局コミュニティ推進部 区政推進課 電話 044-200-2490	川崎市教育委員会事務局生涯学習部 生涯学習推進課 電話 044-200-1308	川崎市まちづくり局市街地整備部 地域整備推進課 電話 044-200-2743	川崎市麻生区役所まちづくり推進部 企画課 電話 044-965-5112

新百合ヶ丘駅北側地区の 区役所・市民館・図書館 について考える 市民共創ワークショップとは？

わたしたちの「記憶」と「気づき」を重ねて、
未来のシビックゾーンを描く

新百合ヶ丘というまちに多様に存在する市民一人ひとりの記憶を丁寧に掘り起こし（つむぐ）、他者の視点と重ね合わせる（つなぐ）ことで、未来のシビックゾーンのありかたを、みなさんと一緒に考えて描いていきます。



目標

1. 共に歩き、共に観察し、共に語り合い・聴き合い、みんなで地域を再発見する。
2. 地域やわたしたちにとって大事な場所や機能をみんなで想像してみる。
3. 多様な人々が出会い、学び合い、つながるシビックゾーンの方向性を共有する。

市民共創ワークショップ各回の詳細

	第1回 わたしとあなたの物語を共有しよう (2026年8月8日(土)13:30~16:30)		
	ショートレクチャー 本事業、本ワークショップの位置づけや目指すものについて説明します。	聞き書きによるペアワーク 参加者同士でペアになり、相互にインタビュー(聞き書き)を行います。	共有とまち歩き計画 聞き書きした内容をグループで共有し、まち歩きのコースを選択します。
	第2回 まちに繰り出し物語を発見しよう (2026年9月12日(土)13:30~16:30)	ショートレクチャー 先進事例の紹介と、まち歩き(フィールドワーク)の手順について説明します。	まち歩き(フィールドワーク) グループごとにまちへ繰り出し、場所と人を観察し、気づいたことを記録します。
第3回 未来への地図と言葉をつむごう (2026年9月26日(土)13:30~16:30)	「地図1」の完成と共有 第2回でつくった内容を編集し、グループごとのマップ(地図1)を完成させます。	まちと施設の未来を考える 地図1で見えてきたことを踏まえ、まちや新しい施設でやりたいことを書き出します。	「地図2」の完成と全体共有 各々のやりたいことをグループで共有し、もう一つのマップ(地図2)に整理します。

郵送の場合は切り取ってお申し込みください。(川崎市川崎区宮本町1 川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課にて)

- すでに策定された「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」を前提に議論を進めさせていただきます。
- ワークショップの様子を、個人が特定されないよう配慮し、動画や写真等で記録し、その内容を川崎市ホームページや報告書、パンフレット等で公表することがあります。
- ワークショップは公開にて行いますので、報道機関等による撮影が会場に入ることがあります。あらかじめご了承ください。

留意事項

新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方 公共施設に関する主な内容

1 「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」とは

新百合ヶ丘駅北側地区のまちづくりを進めていく上での考え方を明らかにし、より魅力的な広域拠点の形成につながる取組を官民連携により推進していくことを目的として策定しました。

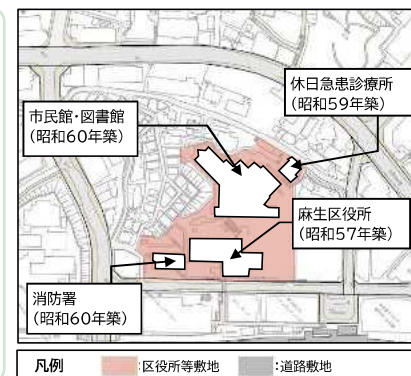
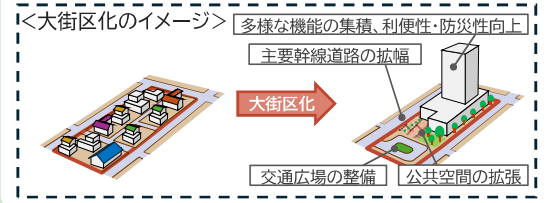
- 交通環境の改善に向けた都市基盤整備
- 高年化した区役所等の公共施設の再編
- にぎわいや魅力を創出する都市機能誘導

などの今後の取組に関する基本的な考え方を示しています。

2 官民敷地の一体的な活用と麻生区役所等の公共施設の建替え

(本編 P22、P24 / 概要版 P6、P8)

高年化した公共施設(築40年以上が経過する区役所、市民館・図書館、消防署、休日急患診療所)について、「建替えする場合」と「継続使用する場合」とを比較検討しました。
官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前都市機能誘導を同時に進めることが妥当と考えられます。



3 土地利用の考え方

(本編 P55 / 概要版 P17)

新百合ヶ丘駅北側地区の「土地利用の考え方」について、方針と概ねのエリアを方針図として示しています。公共施設の建替えにより、世田谷町田線とのアクセスや地域資源と連携したシビックゾーンの形成をめざします。



※本図は、考え方を示したもので、土地利用を制限するものではありません。

「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」の本編・概要版はこちらでご覧いただけます。

専用ページ (川崎市HP)

